

平成29年1月元日

会員各位

協会だよりー289(1月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

2017年年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様並びに関係各位におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。2017年の新春を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年の日本経済に関しては、「申酉騒ぐ」（申年と酉年には相場が乱高下することが多い傾向）という相場格言を地でいくものでありました。昨年前半は、年明け早々から中国上海株式相場の暴落により株価は大幅下落を記録、1月末には日銀がマイナス金利政策を導入、6月末にはイギリスのEU離脱決定の国民投票を受けて記録的な株価下落と円高が進むという、「リーマンショック級の危機」の到来を感じさせる展開となりました。



触媒資源化協会
会長 和氣 収

年後半の11月の米大統領選では当初予想を覆すトランプ氏の勝利に、米国の政治経済の混迷から更なる株価暴落と円高進行の不安が高まりましたが、意外にもトランプ次期政権による米国経済の回復期待の高まり、いわゆるトランプ・ラリーによって市場は株高・ドル高円安に転じ、12月には15年ぶりとなるOPECと同非加盟国との間における原油減産合意や、1年ぶりの米国金利引上げもあり、円安と株価の年初来高値更新が進みました。

さて、今年は「申酉騒ぐ」の後半の酉年ですが、どのような年になるでしょうか。

国内では消費税率の引上げが再度延期されたことにより景気押下げ懸念が薄れたことと、米国を初めとする世界経済の回復を背景に輸出が増加基調を維持すること、企業業績の改善を受けて設備投資が緩やかな増加基調に転じること

等が景気を下支えするものとみられています。一方で、今年はEU中心国のドイツとフランスで総選挙が行われます。閉塞感からの脱却を図る大義名分で保護主義へ傾倒するような結果となった場合の日本経済への影響も予断を許しません。

我が国の金属リサイクル業界に関して見ますと、当協会の会員各社の有価金属回収実績は、製造業の海外移転加速や国際競争力の低下による国内リサイクル原料の発生量の減少、省金属化による含有金属品位の低下、及び資源価格の低迷などを背景に減少傾向が続いており、依然としてリサイクル業界にとっては厳しい環境にあると言えます。

しかし危機は物事の本質を明らかに致します。資源に乏しい我が国においては国内における資源の有効活用が重要である一方、経済合理性を担保出来る技術開発や協業等による新たなリサイクルの仕組みの構築が、今こそ必要になってきています。

産業動向を見ましても、最近ではIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ビッグデータ等の新技術が、効率化や高速化、省人化等を推進する原動力となり、あらゆる産業においてビジネスモデルや業界構造の変革が起こりつつあります。これらの新技術は、リサイクル分野では「収集運搬ルート効率化」、「解体選別の自動化」、「プラントの操業・保全の最適化」等への活用が大いに期待出来ます。

改めまして今年は酉年ですが、酉（とり）＝取り込むという繋がりです。「運気もお金も取り込める」ということから商売繁盛に繋がる年とも言われています。リサイクル業界においても、次なる新しい息吹を現実のものとして取り込んでいこうとする各社の創意工夫による不断の努力が、我が国の資源循環社会への貢献に繋がると共に、これからの活路を切り開くものと考えます。

つきましては、当協会が少しでも会員各社の事業の取り組みのお役に立てるよう、会長として協会発展のため専心努力して参る所存ですので、是非とも関係ご当局並びに会員各社の皆様方には、当協会の活動に一層のご指導・ご支援を改めてお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社のますますのご発展と、関係各位ならびにご家族のご多幸、ご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

J X金属株式会社 取締役 常務執行役員 環境リサイクル事業本部長

トピックス：(再度のご案内・出欠は1月19日(木)までにお願いします)

● 第231回月例会(講演会&新年会)

日 時：平成29年2月9日(木) 講演会 15時~17時半頃、
新年会 17時半~19時半頃

会 場：如水会館(千代田区一ツ橋2-1-1)

講 演：① 野村興産㈱代表取締役社長 藤原 悌様
② アドバンストマテリアルジャパン㈱代表取締役社長 中村繁夫様



一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
二. 事務局より(一月~二月上旬の予定)
三. 【雑学】千葉県の最西北端を往く
(野田市関宿と松戸市)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー288(12月号)をメール&郵便で送信(11/29)
- ② 経産省素材産業課(前・化学課)町田課長補佐・秋山係長を訪問
日 時：12月15日(木) 11:30~12:00
目 的：新年会来賓出席依頼、他
訪問者：和氣会長、小林専務理事
- ③ 第231回月例会(講演会・新年会)のご案内(2016年度最終月例会)
12月15日(木)：メール添付にて
- ④ 2016年(1月~12月)の資源化実績報告のお願い：郵便にて発送(正会員)
12月20日(火)付：記入調査票はメール添付にて発送しました。

【予定事項】

- ① 第五回運営委員会
日 時：1月19日(木) 16:00~17:00
場 所：堺化学工業㈱東京支店
出 席：運営委員・第231回月例会幹事会社

② 第35回 JSCRA 会 (協会ゴルフ大会) のご案内 (1/20頃)

日 時: 平成29年3月21日 (火)

場 所: 現在幹事で選定中 (4組構想)

・・・早めですがこれより2月度の行事予定です・・・

③ 第231回月例会 (講演会&新年会)

日 時: 平成29年2月9日 (木)

講演会 15時~17時半頃、新年会 17時半~19時半頃

会 場: 如水会館 (千代田区一ツ橋2-1-1)

講 演: 1. 野村興産(株)代表取締役社長 藤原 悌様

2. アドバンストマテリアルジャパン(株)代表取締役社長 中村繁夫様

④ 第一回広報委員会

日 時: 2月下旬 (日時は委員長と相談の上)

場 所: ジョンソンマッセイジャパン (合)

出 席: 広報委員 (JMJ, JX 金属、川研ファインケミカル)、専務理事

⑤ 第一回調査・技術委員会

日 時: 2月下旬 (日時は委員長と相談の上)

場 所: 日興リカ(株) 又は太陽鉦工(株)の会議室をお借りして

出 席: 調査・技術委員 (エヌ・イーケムキャット、日興リカ、太陽鉦工、キンキメタル産業、アジア物性材料)、専務理事

2. 事務局より (1月~2月上旬の予定) 出勤予定: 9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	元旦	×	×	×	○	×
8	9	10	11	12	13	14
×	成人の日	○	× (C)	×	○	× (S)
15	16	17	18	19	20	21
×	× (G)	○	×	運営委員会	○	×
22	23	24	25	26	27	28
× (S)	×	○	×	○	× (G)	×
29	30	31	2/1	2/2	2/3	2/4
×	×	○	×	×	○	× (C)
2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11
× (C)	×	○	○	231 月例会	×	建国記念日

3.【雑学】千葉県最西北端を往く（野田市関宿と松戸市）

町田歴歩会日帰りバスの旅は町田バスターミナル7:00発といつも朝が早い。6:30には既に30人程集合済みの様子、参加者は45名で略満席である。快晴に恵まれた今回の見学目玉は千葉県立関宿城博物館、松戸市戸定歴史館（戸定邸・旧徳川昭武庭園）、本土寺との事。バスは前回同様、RV観光バス（ずーっと同じS運転手）で圏央道相模原愛川ICへ向かうが渋滞で50分程かかる。圏央道に入ると順調に走り五霞IC（茨城県）で一般道に下りた時は未だ9:00頃であった。



関宿は現在対岸が利根川（茨城県猿島郡境町）と江戸川（埼玉県幸手市）に挟まれた千葉県野田市関宿（旧・東葛飾郡関宿町）となっているが、江戸時代は約5万石前後の関宿藩として江戸幕府の親藩であった。初代藩主は家康の異父弟・松平康元で天正18（1590）年に入城している。藩創設以来、松平氏（初～3代）小笠原氏（4～5代）北条氏（6代）牧野氏（7～8代、14～15代）板倉氏（9～11代）久世氏（12～13代、16～23代）と譜代大名が続いているが、宝永2（1705）年に久世氏が再封して以来、約165年間、幕末まで長期にわたり久世氏が治めていた。関宿の地名は利根川と江戸川の接点である水運を司る関所で、且つ宿場からきていると言われている。

【千葉県立関宿城博物館】千葉県野田市関宿三軒家 143-4



博物館は、関宿城を模倣した建築（4階建て）となっている。展示の内容は・近現代の利根川、江戸川（明治時代以降に行われた利根川流域での大がかりな河川改修工事や利根運河の開削など）・近世の利根川、江戸川（江戸時代に行われた利根川の東遷に端を発した利根川流域における大がかりな河川改修）・河川交通と伝統産業（利根川水運の主役として活躍した高瀬船、発達した醤油産業など）と企画展示がある。

入場料は200円（65歳以上は無料）である。まずは、講義室に通され、86歳になる元気な博物館のボランティアガイドさんのお話を聴く。川の歴史、水運、関宿藩の歴史等々で、話が長くなりそうなので、当会幹事がそろそろ見学に移らして下さいとの要望で、館内見学に入る。展示室はサラリと見学し、4階の展望室へと移動する。模擬城郭4階は東西南北の展望台となっている。ここからの展望は素晴らしい眺めであったので景色を紹介する。





利根川を越えて境町と筑波山や加波山を展望する

展望台の北面よりの展望で、この日は空気が澄んでいるせいか、対岸の茨城県猿島郡境町や筑波山がはっきりと見える。千葉県北端の地であるのを実感出来る場所であった。

展望台の東面より展望する境大橋は、橋長569.9mの茨城県猿島郡境町と千葉県野田市関宿台町の間の利根川を渡る、主要地方道茨城県道・千葉県道17号結城野田線の橋である。日光脇街道上の茨城県西地区と千葉県北西部を結ぶ重要な橋の1つ。昭和39(1964)年2月12日に有料橋として供用開始。昭和52(1977)年10月20日に無料開放された。



博物館に別れを告げて、一路流山街道を南下して、今日の昼食場所、料亭“紫乃”へ向かう。さすが天下の16号は千葉でも混んでいて道路脇の千葉CC(野田コース)の看板など眺め、今日の天気は良好でゴルフは楽しそう、などと想像しながら時間をつぶす。料亭“紫乃”まで同じ野田市内と僅かな距離ながら1時間ほどかかる。

【紫乃】千葉県野田市中野台194-9



入館するとテーブルには既に重箱・ごはん椀が用意され、着席後にお茶、お椀が運ばれてくる。食事の内容は炊き込みご飯、みそ汁、てんぷら、野菜の煮込み、香の物等で昼食代は1,000円ぽっきりで十分満足する内容であった。

“紫乃”を出発して流山市を通過し、松戸市の戸定邸・戸定歴史館へと向かう。案内に戸定邸は電車で来る場合、JR常磐線松戸駅東口下車徒歩10分と有るので比較的駅より近い場所にあるようだ。松戸市は江戸川の対岸に埼玉県三郷市、東京都葛飾区があり、都心から20km、電車で20分と近い場所にある。松戸市ガイドマップによると、人口:約48万人(県内3番目)と千葉県では千葉市(約97万人)、船橋市(約61万人)に次いでいる。

松戸市と葛飾区との間に江戸川があり、矢切の渡しがる。松戸市の下水マンホールの図柄は矢切の渡しとなっている。



【松戸市戸定歴史館】千葉県松戸市松戸 714-1



戸定歴史館は、江戸川の河岸段丘と思しき高台にある。入口にある「戸定が丘歴史公園」の案内版には次のように記載されている。

戸定邸はわが国で唯一の一般公開されている徳川家の住まいです。建物は国の重要文化財に指定され、庭園は日本庭園史上における価値が高く評価され、国の名勝に指定されています。建物と庭園を作ったのは徳川昭武(1853～1910)です。彼は江戸幕府最後の将軍、徳川慶喜の弟で、兄か

らの期待を受けて、将軍職を継ぐことができる身分を与えられ、1867年パリ万国博覧会に将軍名代として派遣されました。しかし明治維新により幕府の時代は終わりました。

明治時代になり、徳川昭武は松戸に7万㎡以上の土地を取得し、明治17年に戸定邸建設しました。



左の写真は戸定邸の縁側より望む和式と昭武がフランス留学で培った洋式との折衷といわれる庭園である。その庭園を囲むように紅葉が青空に映えて見事に咲いている。

戸定公園と接するように千葉大学園芸学部が立地していて、公園の開館時間内であれば大学との相互通行が出来るようだ。

盛りだくさんな見学なので時間が迫てくる。今度は流山街道を戻るように「本土寺（あじさい寺）」に向かう。本土寺は電車で来る場合、JR 常磐線北小金駅北口下車が便利なようだ。小金は、江戸時代、水戸街道の宿場として栄えたところで、千住をスタートして、新宿（しんしゅく）、松戸宿、小金宿と三番目の宿場となる。小金宿の先は我孫子宿である。

【本土寺】千葉県松戸市平賀 63

街道の分岐にある「本土寺」の石柱から先はバスが通行出来ず、450m進んだ先が仁王門である。参道の途中には割烹、イタリアンの店、茶店が2軒ほどあり、乗用車などは通行でき且つ有料駐車場もあるが大型バス参拝者は「本土寺」石柱より450m徒歩となる。



到着が15時過ぎで、少し暗くなってきたが、ここ本土寺の境内も紅葉が見事である。

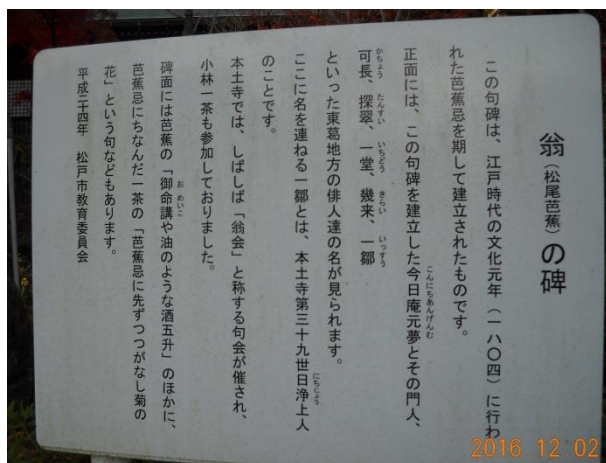
本土寺のパンフによれば「JR 常磐線北小金駅北口より、商店街を少し抜ければ参道にかかり、松杉などの大木が連なること約五百メートル。正面にそびえる丹塗の仁王門を仰いで境内に入ると、木の間ごしに台上の本堂が見え、右方に諸堂が軒を連ねる様が見渡せます。浄域一万坪の起伏に富んだ地形と桜・楓の古木が織りなす春秋の趣は殊更であり、特に初夏の菖蒲と紫陽花の花時は大変な賑わいとなります」とある。



仁王門を入ってすぐ左には美しい五重塔がそびえ、その奥に本堂がある。

松戸市の観光名所人気一番の本土寺とは何もの？この説明が先であったかもしれない。松戸市観光協会のHPには「もと源氏の名門平賀家の屋敷跡と伝えられ、1277年日蓮上人の弟子日朗を導師として招き開堂、日蓮上人より長谷山本土寺と寺号を授かったのが始まりとされており、池上の長栄山本門寺、鎌倉の長興山妙本寺とともに朗門の三長三本の本山と称される名刹です。」とある。そうです！ここは三大日蓮宗の由緒あるお寺なのです。

寺の歴史と別ながら、本堂に登る石段脇に芭蕉さんの句碑がある。その説明板「翁（松尾芭蕉）の碑」によると、この句碑は芭蕉没（元禄7（1694）年）、110年後の文化元（1804）年に本土寺で芭蕉忌が催されたときに建立されたものだそうだ。



ごめいこ
御命講や 油のような 酒五升

（芭蕉庵小文庫）

芭蕉忌に先ずつつがなし菊の花（一茶）

「御命講や・・・」の句は芭蕉さんが元禄元（1688）年に作った句とされている。山本健吉（芭蕉全発句）P351の説明によると「御命講」は十月十三日、日蓮上人の忌日、いわゆる御会式の日である。日蓮上人の消息に「新麦一斗笋三本油のような酒五升、南無妙法蓮華経と回向いたし候」とあるのに拠る。これは信徒から寄進を受けた礼状で、端的活潑な比喻に日蓮の気性が躍如としている。芭蕉も日蓮にならって、人から酒を貰ったお礼に作ったのであろう。内弟子たちが米塩の資を持ち寄った芭蕉の生活ぶりから見て、当然考えられることである。「油のような酒五升」とは濃い豊穡な酒で、賛め言葉であると共に挨拶の心でもある。日蓮の消息文をそのまま転用したところに、ごく親しい門人に対する茶目っ気が見える。とある。

本土寺での芭蕉忌の句碑建立に際して、日蓮の御命講の文字が入り、日蓮の消息文そのままの句（日蓮上人100%の句）が選ばれたものと思われる。

さて速足で40分ほど見学、16時となり日も暮れて帰路に着くことになる。参道途中の茶店で「ナメコ汁」を振舞われ、その心意気と汁の熱さで、身も心も温まる。みやげ物など数点、急いで購入、バスが待つ街道まで450mの参道を黙々と歩くことになる。さて千葉県西北端の旅はここで終了し、町田へ一路バスは進む。

【文責：専務理事】